

東京都 JRAT 第3隊 活動報告

活動期間：2月23日～25日

参加者：PT2名、ST1名

活動場所：いしかわ総合スポーツセンター サブ・マルチ

いしかわ総合スポーツセンターはメイン・サブ・マルチの3つのエリアで構成された避難所です。

メインは1.5次避難所に指定されており、能登地方で被災された方が2次避難所へ行くまでの間過ごすための避難所で、サブ・マルチは一時（いっとき）待機ステーションと呼ばれ、介護を要する方が福祉避難所や福祉施設へ行くまでの間過ごすための避難所とされていて、短期間の滞在を想定していました。

対象者について、メインは要配慮者（65歳以上の高齢者、障害のある方、未就学者、妊婦等）とその同伴者、サブ・マルチは要介護者相当となっているのが特徴です。



支援活動内容

- ・東京班は3日間サブ・マルチを担当しました。
- ・受援者基本票に従って避難者の機能評価や環境調整、福祉用具の選定を実施しました。石川 JRAT の医師と組んでラウンドできたので、医師の関与が必要なケースにも対応が可能でした。
- ・東京班が介入した時点で滞在期間が40日を超える方もいたので、JRAT 非介入の方に対し再度リハトリアージを実施しました。



滞在期間の長期化が課題とされていましたが、福祉避難所や福祉施設への入所が徐々に進み、3日目にマルチエリアが閉鎖されました。

1.5次避難所、一時待機ステーションは今災害で初めて運用されたという事もあり、開設当初は運用面で相当の混乱があったという事でしたが、当班の支援時には落ち着いていました。滞在の長期化の影響で、廃用や不活発の状態の方が多く見られました。

サブ・マルチは介護度が高く、ADL 状態、福祉用具の情報を介護士や看護師と共有・連携する場面が多かったです。